



NO. 122

54

7

主 な 内 容

- 自主防災を考えよう……………2-3頁
- 名城大生らが昔の川辺を研究…4-5頁
- 旗本大島家の家系図を作成……………6頁
- イネミスノウムシの被害多発……………7頁
- 各小学校で交通少年団入団式……………8頁
- 商工会青年部が飛驒川を清掃……………10頁

発行・岐阜県川辺町 ■編集・川辺町役場企画室 ■印刷・四橋印刷KK



ウワァ おいしそう

第1 保育園児がイチゴ狩り

第1 保育園の園児らが6月12日、西栃井地内のイチゴハウスでイチゴ狩りを楽しみました。このハウスは、果樹園経営、平岩義二さん(50)＝中川辺＝所有のもの。毎年農協へ出荷していますが、ことしは他の仕事に追われて出荷の機会を逸してしまいました。そこで「子供たちが喜んでくれるなら」と、園児らに開放したものです。

(2) 世界でも有数の地震国日本——。岐阜県でも過去何回か大きな地震に見舞わ

No.122

れ、そのたびに多くの被害を受けています。地震による被害を最小限にいとめるためには、地域ごとに自主防災組織を結成し、万一の場合に備えてふだんから万全の準備をしておくことが必要ではないでしょうか。

もしも……の地震に備え



考えよう

悪条件：消

防力も低下

地震による被害で最も怖いのは、住宅の密集した地域での火災です。石油、ガスなどの普及している現代では、火災の同時発生、延焼拡大が十分予想されます。大地震が発生した場合、消防機関は全力を挙げて防災活動を行います。電話不通、交通の停滞、消火力分散、水利不足などの悪条件が重なり、消防機関の活動能力が著しく低下することは間違いありません。

必要になる

自主的防災

このような事態のなかで、被害の防止、軽減を図るためには、自主防災つまり私たち町民の自主的な防災活動が最も重要なものになってきます。しかし、自主的な初期消火、被災者の救出、避難も各自ばらばらに行うのでは、その効果はあまり期待できません。全員が団結し、組織的に行動することによって、はじめてその効果が最大限に発揮できるのです。

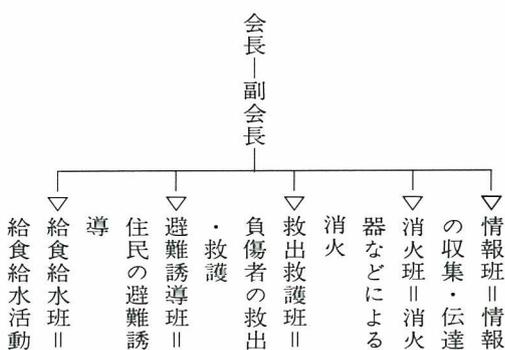
従って、自主防災が効果的に行われるためには、地域の実情に応じた自主防災組織が設けられ、日ごろから訓練を積み重ねておくことが重要です。

組織は、その活動が円滑に行われるよう互いの連帯感のわく程度の規模で、日常生活のうえで一体性を有する地域が理想です。そのため区ごとの活動の一部に含めて設けることが適当でしょう。

具体的防災

計画を作成

組織が出来たら防災計画を作成します。内容は組織の編成、防災訓練、応急対策を中心に、具体的に定めておく必要があります。組織の編成と任務分担の参考例を次に挙げてみましょう。

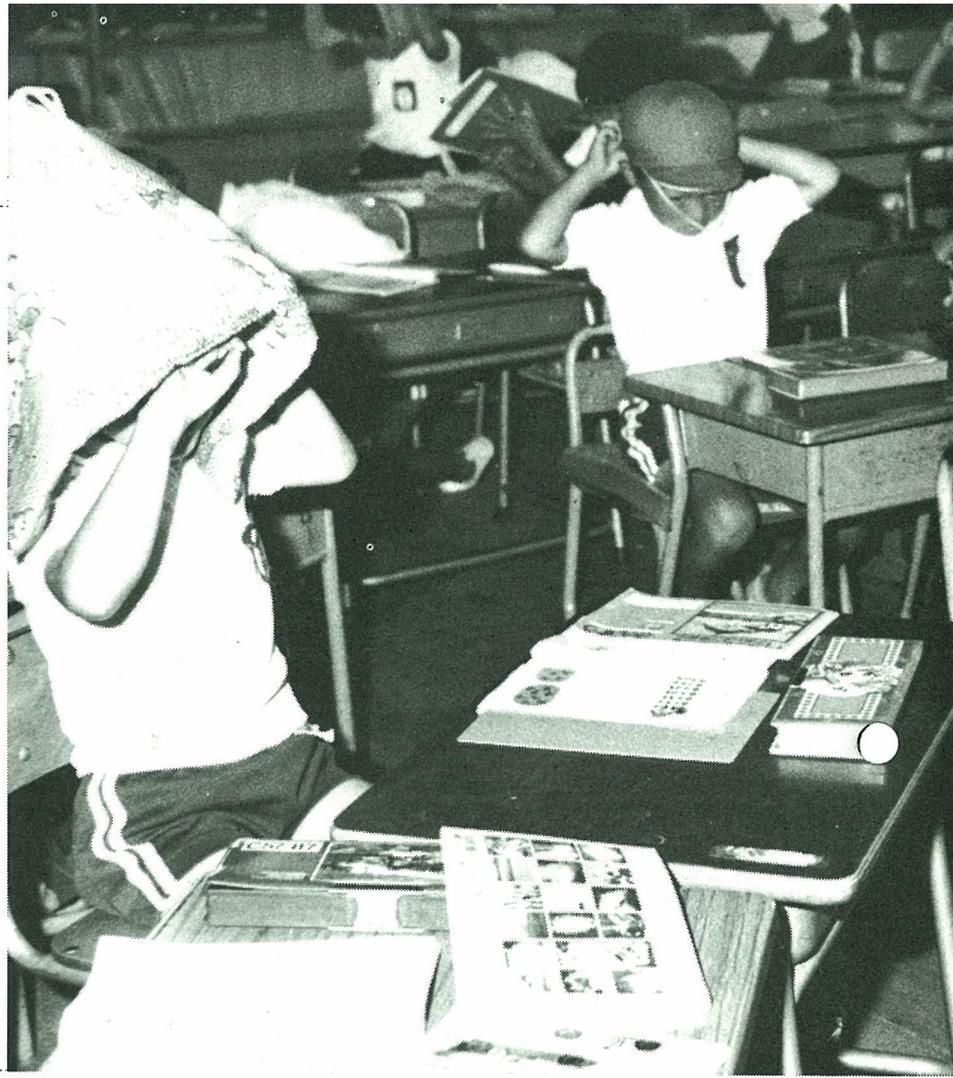


時々全員参加の訓練を

加の訓練を

組織を設立し、防災計画を作成したら、自主防災組織が効果的に

万一の場合の地震に備え、各小学校でも定期的に避難訓練を実施。上米田小学校で



自主防災を

集し、組織の責任者へ連絡する。

・責任者は、情報に基づいて適切な判断を下し、地域住民に対して消火班の集結、避難の必要の有無などの指示を行う。

・災害が発生すると、住民はデマなどに惑わされ、混乱し、被害を大きくする恐れがあるので、住民への情報の提供、指示などは迅速かつ正確に行わなければならない。

・責任者は、必要に応じて防災関係機関に対し、出動の要請を行う。

【出火防止および初期消火】

・火の始末と石油、プロパンがスなどの安全対策を各家庭に対し呼び掛ける。

・火災が発生した場合は、大声で隣近所に応援を求めるとともに、初期消火に努める。火元付近の住民および消火班は、備え付けの消火器などを持ち寄り、消火に当たる。

・消火班では消火困難と判断される場合は、消防署へ速やかに通報する。

・負傷者の救出に手間取り、初期消火の重要性を忘れたため、かえって被害を大きくすることもあるので注意が大切。

【救出・救護】

・大掛かりな救出作業が必要な場合は、資機材を活用し、救出救護班が救出活動を行う。

・重傷者が出た場合は、救出救護班で止血や骨折の手当てを行い直ちに医療機関や応急救護所へ搬送する。

【避難誘導】

・避難命令が出た場合を除き、早期避難はしないで、初期消火、救出・救護に全力を挙げるよう指示する。

・避難命令が出た場合や初期消火の失敗による各所での延焼、堤防の決壊による出水の危険などがある場合、自主防災組織の責任者は避難の指示をする。

・責任者は、予定避難地、避難路の状況を情報班に確認させ、安全な経路を選定する。

・住民が他の組織の住民と混同しないよう、避難誘導班員は、あらかじめ定めた目印となるものを携帯する。

・傷病者などの担架搬送などの手段を講ずる。

・避難誘導員は、住民が不必要な荷物を持たないように注意する。

情報・指示

の一本化を

主な項目は以上の通りですが、被害が各所で発生し、また余震もあって相当混乱することが予想されるので、会長や班長は本部に詰め、情報の集中、指示の一本化に特に注意する必要があります。

活動できるよう、平常時に防災計画の周知徹底を図るほか、次のような活動を行う必要があります。

▽防災に関する知識の普及

▽防災訓練の実施（総合訓練と班ごとの個別訓練）

▽火気使用設備器具などの点検・整備

▽消火器、ツルハシ、ロープなどの防災資機材の備蓄

特に防災活動に必要な知識、技術を習得するため防災訓練は重要

であり、少なくとも年一回は全員が参加できるようにしたいものです。

組織の災害時の活動は、防災計画で具体的に取上げ、防災訓練で習熟しておかなければなりません。その主な項目について注意しなければならぬ事項は、おおむね次の通りです。

【情報の収集・伝達】

・情報班員は、いち早く地域内の被害状況および必要な情報を収

昔から伝わる風習や人々の暮らしぶりなどを聞く名城大生ら＝西栃井の田原耕作さん宅で



旗本、農民の暮らしは……

名城大、神奈川大が調査に来町

町史編さん室に名城大、神奈川大の学生らが相次いで来訪、編さん委員や町内旧家の協力を得て、昔の人々の暮らしぶりや、江戸時代に町を治めていた旗本大嶋家と農民とのかわり合いなどを調査しました。

旧家回り伝統行事など調査

名城大

名城大から調査に訪れたのは、

同大「郷土研究会」(倉知淳二幹事長)の学生ら。六月三日、十七日、七月一日の三回にわたって、西栃井の田原耕作さん(☆)宅など数件の旧家を回って、昔から伝わる風習や行事などを聞き取り調査しました。同会では、研究の成果を本にまとめ、活動の資料にする考えです。

これまでも同会は、三河地方(愛知県)や信州地方(長野県)など、毎年各地へ出かけ研究結果をまとめています。川辺町が調査対象になったのは、町史編さん室

の完備、豊富な資料など受け入れ体制が整っていたため、県下では町だけ。

明治から昭和 初期まで研究

住居の間取り、年中行事、戦前の交通体系など、調査内容は明治から昭和初期にまでわたっています。古くから「昔は土間に農耕機具や自家製のみそ、つけ物などを置き、天井裏には薪炭や、災害に備えて米が蓄えられていた」ことなどを聞き出しました。また月別に年中行事も調べ、正月には一家の主人が井戸水(若水)をくんで、その水で雑煮を煮て食べたという

広報かわべ

(5)

「若水迎え」の行事や、下麻生の「こじき祭り」などにも解明のメスが入られました。

残っていた川 辺独特の風習

鹿塩の井戸喜一さん(モ)宅での調査では、恵比須(えびす)様への供え物は、一家の主人が嫁でな

旗本大嶋家の財政事情解明

神奈川大

神奈川大が最初に町史編さん室へ調査に訪れたのは、昨年六月。同大の山口ゼミナール教室(山口徹教授)の学生らが、旗本大嶋家の財政状況を記録した江戸末期から明治維新まで約七十年間の古文書を解明、それを通して「近世農民経済史」を勉強するのが目的です。

同大が来町したのは、会誌「濃飛史(そう)」で、町史編さん委員・木下尚年さん(五〇)川中川

IIの論文「旗本大嶋家―その財政について」を読んだのがきっかけ。町には、当時の農民らの暮らしぶりを知るうえで欠かせない貴重な資料が多数残っているのを知り、閲覧を申し出たものです。

どこの旗本

も火の車

町は江戸時代、中川辺村(現中

ければ食べることができない(兄弟や子供が食べると家の徳を持つていってしまう)という川辺独特の興味深い風習が残っていることわかりました。

同会では八月にも再度調査に訪れ、町史編さん室との討論会を開き、その過程で調査の結果をまとめていくことにしています。

川辺地区)と西栃井村(同西栃井地区)が旗本大嶋家の支配下にあ

ったほか、幕府直轄の天領地だった下川辺村(同下川辺地区)には笠松代官所下川辺役所がありました。この当時、大嶋家から庄屋あてに出された年貢受け取りの「定免御年貢皆済目録」や現代の家計簿に当たる「請払御勘定帳」など二百余点の資料が、下川辺の木下喜作さん(モ)宅などの旧家にあり、当時をしるのふ手掛かりになっています。

同ゼミでは、これらの資料を基に旗本支配地と天領地の年貢の取り方の移り変わり、農民生活、江戸末期の旗本の財政事情などを調べました。その結果、年貢の徴収制度は▽旗本領は毎年決まった年貢を取る定免制だったのに対し、天領地ではその年の米の豊凶によって納める量を決めた検見制を採用していた▽関東地方では米納と金納の両方だったが、この地方では

ずっと米納だけ―ということがわかりました。

豊富な資料 手掛かりに

また「請払御勘定帳」を検討した結果、大嶋家は豪商などから年間九百両(約三千万円―五千万円)もの借金をしており、当時はどこの旗本も借金だらけで、財政事情は「火の車」だったことが推察されます。

山口教授は「貴重な資料がこれ

だけ残っているのは非常に珍しいケース。当時の人々の生活の様子がよくわかり、大変興味深い」と話していました。また木下さんも「町史を編さんするうえで、とてもプラスになった。これらの調査結果は、今後の作業の参考にしていく」と語りました。

同ゼミは昨年十二月にも調査に訪れ、約千五百点の古文書を解明。ことしの夏休みに再び来町し、最終的なものをまとめることにしています。



多数の古文書を前に旗本大嶋家の財政事情などを解明する神奈川大生ら=県営川辺漕(そう)艇場第二艇庫会議室で

文化財保護委が会議

文化財保護委員会はこのほど、第二艇庫会議室で会議を開き、今後の活動内容などについて話し合いました。同委員会は名勝、史跡、古文書など、町内に残っている文化財の調査・保護を目的に五十一年六月に発足。これまでも、史跡や天然記念物などに保護標柱を建てるなど地道な活動を続けてきました。

この日の会議では、これまであった文化財保護条例を、より完璧なものにするよう検討し合ったあと、本年度も保護標柱を石造物五か所に建てることを決めました。また来年度も引き続き「写真集「川辺町の文化財」」を発刊するに当たり、史跡、名勝、天然記念物の調査を九月末までかけて行うことにしました。

文化財保護委員は次の皆さん。(敬称略)

- ▽委員長 田原耕作(西栃井)
- ▽委員 有本清樹(下川辺) 岡本穰(西栃井) 矢嶋弓男(中川辺)
- 紅谷茂(同) 加藤丈作(石神) 加藤栄樹(同) 金沢春富(上川辺)
- 長島正彦(同) 佐藤恭一(下麻生)
- 井戸喜一(鹿塩) 若井令一(同)
- 石井務(下飯田) 村上正(同) 山田里見(福島) 小森静樹(同) 高井嘉治(比久見) 肥田満郎(同) 林真一(下吉田)

旗本 大嶋一族の消息一日で

中川辺の矢嶋さんが家系図作成



中川辺の矢嶋弓男さん(55)は、江戸時代に十一代にわたって町を治めた旗本大嶋家の家系を調べ上げ、一族の歴史や消息などが一目でわかる家系図や年表を作成中です。八月ごろにはすべての調査が終わる予定。町史編さん室では、調査結果をそっくり借り受け、現在編さん作業を進めている「町史史料編・上巻」に掲載する予定です。

矢嶋さん宅は代々庄屋の家柄。大嶋家の財政面の役人である賄方を務めていた家系です。そんなことから、大嶋一族に対する関心も人一倍強く、こつこつと研究を続けてきました。

調査を始める直接のきっかけとなったのは、自宅に残っていた約五千点の古文書のうちの一つ「辰歳(たつとし)朝鮮人来朝二(に)付(つき)小熊川御船橋御用諸事留日記」。大嶋一族の一人である大嶋三朗右衛門が延享四年(一七四七)から記録した八冊の日記帳です。この日記帳は「まずここでは見ることのできない貴重なもので、国宝級の価値がある」(矢嶋さん)という代物。幕府が朝鮮信使(使節団)を迎えるに当たり、大嶋家が果たした役割などが刻明に書き記されています。

日記の標題にもなっている「船橋」とは、信使が川を渡るときに船を並べ、その上に板を乗せて造

旗本大嶋家の家系を調べる矢嶋弓男さん 町史編さん室で

った仮橋のこと。木曾三川のうち小熊川(現木曾川)への架設が大嶋家の分担になっていました。日記には、船と船をつなぐフジづるを苦労して集めたこと、町からたぐさんの人たちが使役に行ったことなどが記されています。また帰国するときには、幕府から「びょうぶ」など豪華な土産物が贈られ、当時の朝鮮は幕府にとって非常に重要な国であったことがわかります。同信使は四百余人の大使節団で、慶長―寛永年間にかけて十二回来日しています。矢嶋さんが作成中の家系図や年表は、同信使と大嶋家のかかり合いを追及していくうちに、一族の消息などを知る必要が生じて手掛けた「副産物」。

編さん室も

大きな期待

調査を始めたのは昨年の春から。東京、関市、富加町、本巣郡糸貫町など同家ゆかりの地を回って寺の過去帳や墓碑を調べ、江戸へ行った者、町内に残っていた者などをすべて解明しました。調査を進めるうちに、他町の町史の誤りも発見するなど、成果は上々。町史編さん委員の木下さんは「これまでの歴史の定説を覆すかもしれない貴重な研究」と、調査に大きな期待を寄せています。

(7) 広報かわべ

No.122

町内にも多数発生

一斉に共同防除を

イネミズゾウムシ

五十一年に愛知県でイネミズゾウムシが発見され、昨年は岐阜県各地にも発生しましたが、町内では発生していませんでした。

しかし、ことしの五月二十八日、下飯田、鹿塩、下吉田、上川辺地区の普通苗代で越冬成虫七十頭が確認されました。そのためこのほど、役場で緊急防除対策会議を開き、イネミズゾウムシに対する共同防除について協議、該当地区は一斉に共同防除を実施することにしました。

それに併せて町では、六月十三、十八の両日、全町にわたって調査を行い九十五頭を確認、中川辺、西栃井、下川辺地区の一部を除くほとんどの地域に発生していることがわかりました。発生面積は百二十畝で、水稲作付面積の六七％に及んでいます。

イネミズゾウムシは雌ばかりで増えるといわれ、春先からススキ、チガヤ、稲などの葉をかすり状に食害します。成虫は毎日一、二個の卵を三十一五十日産み続け、一頭平均百二十個くらい産卵するといわれています。

幼虫は水田の土の中に潜って、稲の根を食害するため、成虫の発

生密度が高い地域では下葉が黄化し、株が容易に引き抜けるようになります。引き抜いて稲株を水洗いすると、幼虫は水中に浮きます。体長は約八mmで、白色の細長いウジ状。四回脱皮すると土繭となって根にくっついていきます。

土繭の中でサナギになり、七月十四日で新しい成虫となります。新成虫は七日くらい稲を食害し、水田外の越冬場所に移動します。

▽幼虫の防除
幼虫発生調査を実施して幼虫発生が多い地域は「サンサイド粒剤」

を十ア当たり三〇、一斉に共同防除してください。

▽新成虫の防除
新成虫を発見したら「バイジツト粉剤」を十ア当たり三―四〇、

一斉に共同防除してください。共同一斉防除により被害を最少限にとどめ、来春の越冬成虫をできるだけ少なくするよう努めてください。



イネミズゾウムシによる被害状況を調査する町職員(比久見地区)

水谷三三も出演

7月21、22日に「川辺おどり」

商工会青年部主催、町・婦人会・商栄会・商工会・同婦人会・民踊クラブ協賛の「川辺おどり」が7月21、22の両日、中川辺本町通りで開催されます。22日には、CBCテレビ「ラブラブダッシュ」の司会などで活躍中の女性タレント・水谷ミミさんも出演し、歌謡ショーを繰り広げます。多数のお出かけをお待ちしています。行事内容は次の通り。

■21日

▷美濃加茂高プラスバンド、バトントワラー＝午前10時～11時

▷らくがき大会(審査により賞品授与)＝午後4時～6時

▷金魚すくい(無料)みたらしだんご(無料1人1本)＝午後6時～8時

▷川辺おどり＝午後7時30分～11時

■22日

▷らくがき大会(審査により賞品授与)＝午後4時30分～6時

▷金魚すくい(無料)みたらしだんご(無料1人1本)＝午後6時～8時

▷水谷ミミ・伊藤秀志歌謡ショー、カラオケ大会(自由参加、賞品あり)＝午後6時30分～8時

▷川辺おどり＝午後8時～11時

全日本女子ボート開催

社団法人日本漕(そう)艇協会主催、県漕艇協会主管、県教育委員会・町体育協会・町教育委員会後援の第10回全日本女子選手権競漕大会兼第8回中部漕艇選手権競漕大会が7月21、22の両日、県営川辺漕艇場で開催されます。

【第10回全日本女子選手権競漕大会】

◇距離 千ギ

◇種目 ナックルフォア、シングルスカル、ダブルスカル、かじ付きクオドルプル

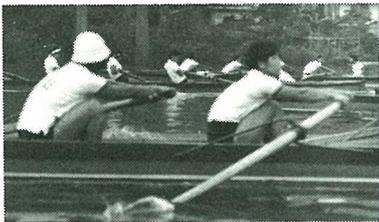
【第8回中部漕艇選手権競漕大会】

◇距離 ▼ナックル種目 千ギ

▽シエル種目 千五百ギ

◇種目 ▼男子 〓シエルエイ

ト、ナックルフォア、かじ付きフォア、シングルスカル▽女子 〓ナックルフォア、シングルスカル



46年10月10日に県営川辺漕艇場で行われた第2回全日本女子選手権競漕大会

“事故防止は僕らの手で、”

交通少年団 160人が新団員に 入団式



交安協川辺支部役員から団旗や腕章を受け取る交通少年団員ら川辺小学校で

交通少年団入団式が六月十九日、各小学校で行われました。同少年団は、児童らの交通安全に対する意識を高めよう、と四年生以上の児童で構成されています。

ことしは百六十人が入団。交安協川辺支部役員から各少年団に腕章と団旗、バッジが手渡されました。新団員は次の皆さん。(敬称略)

【川辺小】 桜井英樹、桜井英士、岩田臣史、交告千亜紀、渡辺美佐子(以上石神) 則武理香、加藤幸久、加藤さゆり、井戸純子、高橋宏幸(以上鹿塩) 加藤真由美、渡辺ゆかり、紅谷政幸、加藤香代子、渡辺香、遠藤敏治、馬場英明、西垣利彦、熊沢厚生、佐藤由美、清水裕善、関伽井史子、吉田茂、杉山公規、三品さゆり、村山美由紀、佐藤康一、高木誠、倉部秀夫、加藤太一郎、加藤陽二郎、横山祐子、井戸光俊、矢島朋子、上野か

おり、吉田文好、籠橋恵美子、遠藤詔子、奥村光則、杉本亜津子、遠藤佳子、田原博之、高田哲二、竹川幸子、紅谷謙治、若井温子、熊沢佳子、西村三治代、井戸誠、山田浩美、井戸利文(以上中川辺) 横山裕子、熊田浩二、勝村史彦、岡本裕、林恵三子、加藤雅子、鈴木民、長瀬和恵、岡本康一、山田隆徳、今井紀子、牧田正徳、桜井一章、山田治美、則武真喜美、柴田幸治(以上西柄井) 日下部弘美、木下志博、木下淳次、林信夫、座間慶史、土岐正春、渡辺美奈子、有本孝、高木都子、可児嘉徳、桜井小由里、中島紀子、鈴木伸一(以上上下川辺)

【上米田小】 加藤隆、横山敏弘、加藤隆秀、大脇和夫、加藤淳、牧田常和、交告達也、中島雄樹、横山秀雄、所真直、横山佳代、岩井直美、高田鈴江、広井真実、土谷さゆり、肥田幸子、加藤秀実、西野美代子(以上比久見) 天池英治、野中誠人、吉富祐二、加藤正樹、加藤正明、山内登美子、山田はづき、加藤友美、山田由美、肥田春子、長谷川みゆき(以上福島)

岡田拓宏、馬場康寛、石原勝昭、土谷かおる(以上下吉田)

【北小】 渡辺勝司、桑田由紀典、富松賢治、井戸雅信、田中信幸、鈴木大介、元田昇、市原早苗、坪内晴美、矢島久実、横山紀子、佐伯しのぶ、岡本あゆみ、渡辺明美、安江照美、柴原有希子、後藤育美、若井恵美、小柳義明、坪内浩司、坪内康隆、大谷重光、朝日博、山田直子、客野敦、辻民平、坪内幸雄、丹羽誠、坪内香織、古川明子(以上上川辺) 平岡典男、野中英敏、平岡かつら、平岡恵美(以上石神) 山口弘彦、丹羽信一、村瀬清美、鶴田めぐみ、長尾健一、高谷健、井戸武、渡辺純子、平岡俊幸、加藤谷子、中川克子、毛利好江、杉山かおり(以上下麻生)

ぼくが、川辺小の交通少年団長に選ばれて、第一にやらなければならぬと思ったことは、ぼくが分団長をやっている分団を他の分団の手下になるようにするということである。そのために、

ぼくの分団がしっかりすれば、

守ることだ。

まず学校の信号を守る。右側をきちんと歩く。おうだんはどうですか、安全をたしかめてわたる。こんなことだと思おう。

はたは、分団長にとって大切なことだ。右側をきちんと歩く。おうだんはどうですか、安全をたしかめてわたる。こんなことだと思おう。

はたは、分団長にとりて大切なことだ。右側をきちんと歩く。おうだんはどうですか、安全をたしかめてわたる。こんなことだと思おう。

交通ルールを守ろう

川辺小交通少年団長・牧野真澄(一三)川中川



めには、みんなに注意して、ここにあわないようにすることだ。ぼくの注意を聞いてもらうには、それだけのことを態度でしめすことだと思おう。

ぼくの態度とは、交通ルールを守るということだ。

他の分団もしぜんとしっかりしてくると思う。

はたをふりまわさない。ちゃんと話を広げて登校する。はたをちゃんとまっすぐ出して歩く。はたを、目的にあった使い方を使う。

たら、どの分団の子でも、どの分団長にも注意してやりたい。分団長らしい行動をとりたい。ぼくは、今、こんなことを考えながら、分団長としての責任を果たそうと思っている。

雨：交通事故に注意

スリップによる衝突が多発

ことしも雨の季節になりました。スリップによる追突や正面衝突、路肩崩れによる転落事故の多発が心配されます。雨の日は見通しも悪く、路面が滑りやすく、そのうえ気分的にも憂うつになるため、運転者も歩行者も、いつもより交通事故を起こす危険性が高くなります。

お互いに次のようなことを注意し合って、無事故でこの季節を乗り切りましょう。

■車を運転する人は

◎まず車を点検しよう



雨の日は交通事故の危険がいつばい、運転者も歩行者も細心の注意を川辺地区で

タイヤがすり減っていたり傷ついたりしていませんか。空気圧は低下していませんか。そのほかウオッシュャー液の量やワイパーの作動具合も点検しておきましょう。

◎横断歩行者に要注意

雨の日はかさを持ったり雨ぐつをはいたりしていますから、飛び出しはそれほど多くありません。しかし横断中にはねる場合が多いのです。雨のため近道したり、無理な横断をしようとしていますので、特に交差点、横断歩道の付近を通過するときは、晴れた日の二倍の注意が必要です。

◎夜間は特に慎重に

晴れた日に比べて事故の起こりやすいのは、雨の日の夕暮れから夜にかけてです。夜はふだんでも視界が悪いのに、雨粒によるフロントガラスの乱反射が条件を一層悪化させます。前方をよく注視して、危険を早く知るよう心掛けましょう。

◎視界を確保しよう

ワイパーが動く部分だけきれいで残りのガラスが汚れているのは、サイドミラーから後方の様子をつかむことができません。ちよつとスタンドなどへ寄って、全面をき

れいにしてから運転しましょう。
◎スリップやローリングをしたときは一呼吸待つ

雨降りの事故にスリップはつきものです。スリップやローリングをし始めたときに急ブレーキを踏んだり、急ハンドルを切るとはかえって危険です。まずアクセルを離し、しっかりとハンドルを握ったまま、静かにブレーキを踏み込んでいきます。シフトダウンしてエンジンブレーキで減速すれば最高の出来ですが、ローリングするほどの高速運転は根本的な間違いです。

◎窓を少し開けよう

窓を閉め切っていると、外の音が聞こえないばかりか、車内と車外の温度差が大きくなってガラスが曇ります。中の空気も悪くなり、頭の回転にも影響しますので、窓は少し開けるようにしましょう。

◎昼間でもライトをつけよう

霧などで視界が悪いときは、無理して進むことはやめましょう。どうしても走らなければならぬときは、他の車両に自分の位置を知らせるため、昼間でもライトをつけるようにしましょう。

◎スピードは控えめに

雨の日の制動距離は、晴れた日の一・五倍ぐらいに伸びます。また水たまりに入ったあとは、ブレーキが全く効かなくなることもあります。シートベルトをしつかり

締めて車間距離を十分とり、速度を控えめに走ることが大切です。

■歩行者、自転車乗りの人は

◎無理な横断は絶対やめよう

雨降りり、早く目的地へ行こうとあせる気持ちはわかりますが、そこに事故が待っているのです。急に横断したり、自転車で急に右折すると、車がスリップして大きな事故となります。まず、いったん止まって、左右、前後の安全を確かめましょう。

◎明るい色の雨衣を着けよう

車の運転者から早く見つけてもらうためには、かさをさすよりも目立つた色の雨衣を着た方が安全です。特に自転車のかささし運転は、ハンドルさばきが鈍って

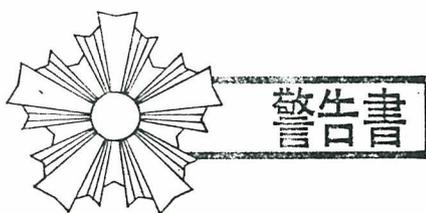
危険ですから、雨衣を着けて乗るようにしましょう。

◎夜は光るものを身に着けよう

あなたから自動車のライトはよく見えても、運転者からはあなたが見えません。夜光グスキーやスコッチテープなど、ライトで反射するものを身に着けることが自己防衛のコツです。

交通ルールを守ることは、道路を安全に通行するための基本ですが、このルールに違反したときに交通事故となるのです。あなた自身はもちろん、みんなの生命や身体を守るために自分本意な行動を慎み、譲り合いの精神を持つことが事故防止への近道です。

駐車中は必ず ドアロックを



「キー付き駐車をやめよう」と呼び掛けた警告書

車の中に警告書、ハテ？——そんな経験をお持ちの方もいらっしゃると思います。これは、盗難車が第二、第三の犯罪に使用される傾向が強いため、ドライバーの皆さんに「キー付き駐車を絶対に行わない」と呼び掛けたのです。犯罪者は、車から足のつきのを恐れて盗難車を使用するわけですが、持ち主こそい迷惑です。愛車が犯罪に使用されてはたまりませんから、駐車するときは必ずキーを抜いて、ドアロックをしましょう。



飛驒川流域のごみの山をきれいにする商工会青年部員ら＝中川辺地区で

商工会青年部（石井幸太郎部長）はこのほど、飛驒川流域の清掃奉仕をしました。「川を美しくする運動」を提唱している同青年部の「飛驒川クリーン作戦」。今後も機会をみて町内各所の清掃奉仕を行い、町民に「きれいな町をつくらう」と呼び掛けていく予定です。

大掃除したのは、下麻生―西

栃井間の飛驒川約七*。飛驒木曾川国定公園にも指定されている景勝地で「らくだ岩」（下麻生）など、自然の芸術が散見できます。中電川辺ダムでせき止められた湖は県営漕（そう）艇場として、その美しい風景とともに全国的に知られています。シーズン中は地元ばかりでなく、東京、名古屋、和歌山などからも多くのボートチームが練習に訪れ、豊かな自然を満喫しています。

そこで同青年部では「清流を取り戻そう」と運動を開始。六月三日に下麻生地区と西栃井地区を役員だけで掃除したあと、同月十日には部員約五十人が参加して、流域一帯をきれいにしました。当日は漁船六隻を使って、川に浮いた野菜くずやビニール袋を拾い上げたり、兩岸の空きかんなどを始末しました。

作業を開始すると、集められたごみはまたたく間に山となり、部員らもあきれ顔。短時間でダンブカー三台に積み切れないほどになりました。周囲には不快なおいが立ち込め、全員がまゆをしかめていました。家庭で処理できるはずのごみも相当あり、町民の自覚が強く望まれます。

しかし川沿いには、空きかん、ビン類などのほか腐った野菜や廃材などが山積みされ、ごみ捨て場同然となった所が十か所ほどもあり、周囲の景観を台無しにしています。また、川には流れてきたごみが浮かび、年々汚れはひどくな

うづまぎんクリーン作戦の山

商工会青年部が「飛驒川クリーン作戦」

同青年部では、引き続き飛驒川の清掃を行うほか、山楠公園のごみ一掃作戦も計画。各所に警告看板を立てるなど、町民に不法投棄防止を強力に訴えていく考えです。

きれいな町をつくろう

ごみの不法 投棄やめて

ハエ、蚊、悪臭の原因に



ごみの不法投棄によって町的美観は損なわれる一方。一人一人の自覚で清潔な町を—上川辺地区で

めざましい生活水準の向上と大量生産、大量消費の時代を反映し、工場、事業場、家庭などから排出される産業廃棄物や一般廃棄物の量は年々増加傾向にあります。私たちが清潔で快適な生活を営むためには、工場、家庭などから排出される廃棄物が適正に処理されなければなりません。

皆さんの周りを見てください。効外の空き地や道路わき、河川敷などで、ごみ捨て場と化した場所をよく見掛けます。このような場所には、決まって「ここにごみを捨てないでください」と書かれた看板が立っています。

これらのごみの山は、最初に不心得な人がごみを捨てたことが基礎で、他の人があとから同じ場所にごみを持ってきては捨てていくために出来るのです。このように不法投棄されたごみは、町的美観を損ない、ハエや蚊の発生、河川の汚れや悪臭、土壌の汚染などの原因となります。

ごみの適正な処理と生活環境の保全および公衆衛生の向上を図るため、廃棄物の処理責任、処理方

法などについては「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」で決められています。

この法律では、私たちは生活環境を守るため▽自分の土地、建物の清潔を保つ▽公園、広場、道路、河川、その他の公共の場所を汚さないようにする——ことなどに努めなければならぬことになっています。

また廃棄物を一般廃棄物、産業廃棄物の二種類に分けて、それぞれ廃棄物の種類に応じて次のように処理方法などを決めていきます。

■家庭のごみ、粗大ごみ（一般廃棄物）
▽町が行うごみ収集に協力し、

収集日に指定の場所へ出す。

▽自分で処理する場合は、他人に迷惑の掛からないよう生活環境に支障のない方法で焼却する。

■工場・事業場などから排出される産業廃棄物
▽事業者が自らの責任で適正に処理する。しかし処理の方法によっては公害の原因ともなるので、保健所など関係機関ともよく相談する。

▽産業廃棄物の収集・運搬・処分は、同産業廃棄物処理業の許可を受けなければならない。

▽産業廃棄物の運搬、処分を委託する場合は、処理業の許可を持つているかどうかを確認する。無許可の処理業者に委託すると、委託者自身も違反となり、処罰される。

警察でも厳しく取り締まり

警察では、生活環境や健康を守るため、関係機関と協力して、廃棄物の不法投棄や工場廃水の垂れ流しなど、悪質な公害事犯に対しては特に厳しく取り締まりを行っています。

不法投棄の現場や産業廃棄物などが捨てられているのを見掛けたときは、すぐに警察署へお知らせください。

毎月欠かさず境内清掃

お寺使用の恩返しに



世間話に花を咲かせながら草取りなどの清掃奉仕をする西栃井福寿会員ら。同地区の禅原寺で

西栃井福寿会

西栃井福寿会（三輪実夫会長・九十八人）は、懇親会を兼ねて毎月一回、同地区禅原寺の清掃奉仕を行っています。同寺にあるチビツ子広場も、会員の手によってきれいに整備され、子供たちは元気に遊び回っています。

同福寿会が誕生したのは十五年前ほど前。以来当分の間は、年に数回の奉仕作業をするにとどまっていた。それが会の月例行事として定着するようになったのは、

三輪さんが会長に就任した五十一年春から。お茶を飲んだり世間話をしたりの親ほく活動のとき、いつも寺の本堂を提供してもらっていることへの恩返しの意味も込められています。

農繁期の忙しい時期を除けば、毎回六十人ぐらいの会員が参加。午前中いっぱい作業に充てられ、かまや草かきを持って、草刈りや庭木の手入れ、チビツ子広場の清掃などを行っています。

栃井神社を整備

西栃井の若人会員ら

西栃井地区の世帯主が集まって出来た若人会（堀江辰由会長・五十六人）が六月二十四日、同地区栃井神社の整備作業をしました。チビツ子広場の整備、山楢公園の清掃など地道な活動を続けている同会の奉仕事業の一つ。

この日は、土台が緩んで危険な状態になっている同神社外周の石柱の整備が中心。約三十人の会員が出勤して、セメントで土台を固めたり、ぐらぐらになった石を積



み直したりしました。神社の整備をする西栃井若人会員ら。同地区の栃井神社で

鑑賞者もため息

第6回 山口さんに特別賞

町盆栽愛好会（田中一秋会長）

はこのほど、商工会館と中央公民館で第六回サツキ展を開きました。サツキは、五十一年に町花に制定された花。以後、各地区で栽培講習会が行われたりして、愛好者は増える一方。

当日は、両会場にベテランや初心者の丹精込めた作品約二百点が出品されました。町内はもちろん町外からも熱心な愛好者が大勢集まり、見事な枝ぶりの盆栽に見とれていました。約百五十点の若木、古木の競り市も行われ、上々の売

れ行きを見せました。

会員の投票により作品の審査が行われ、次の皆さんが上位入賞しました。（敬称略）

▽特別最優秀賞 山口五一（中川辺）▽最優秀賞 肥田欣二（比久見）▽優秀賞 加藤乙彦（福島）

▽努力賞 後藤市三（上川辺）西田利和（中川辺）▽県議長賞 平岡千秋（石神）▽県緑化愛護会長賞 小栗勉（福島）▽町長賞 長谷川敏幸（下川辺）▽町議長賞 北原薫（町外）▽教育長賞 長谷部衛（中川辺）

ありがとう

◇飢えに苦しむ子らにおやつ代

町婦人会（金沢久子会長）はこのほど、国際児童年にちなみ、世界中の飢えに苦しむ子供たちにおやつ代を送ろうと、カンパを実施しました。

支部ごとのカンパ金額は次の通り。

- ▽上川辺 一万九千三百円▽石神上 六千二百円▽同下 一万一千七百五十円▽中川辺上 二万八千円▽同下 二万七千八百円▽西栃井 二万七千九百五十円▽下川辺 一万三千二百円▽鹿塩 一万三千六百円▽福島 八千四百円▽比久見上 八千五百円▽同下 七千円▽下吉田 五千八百円▽下麻生 二万八千七百五十円▽合計 十九万八千七百五十円

◇満期の拾得金を寄付 中部

中二年の矢嶋春代さん（三）川川辺Ⅱと長谷部みほさん（四）同Ⅱからこのほど「身障児のために役立ててください」と、満期になった拾得金一萬円の寄付がありました。

表彰

◇県よい歯の郡代表 郡の歯の優良

児童審査会がこのほど、美濃加茂市産業文化会館で開かれ、一位に北小六年の林尚登君（一）上川辺Ⅱが選ばれました。

消火せんの使い方勉強

御座野 曙会 主婦を対象に特訓

上川辺御座野地区の親ばくグルーブ「曙(あけぼの)会」(野邑佐太郎会長・三十三人)は六月十日、同地区の三か所で、主婦らを対象に消火訓練を行いました。



消防団員の指導で放水の仕方を習う
婦人会員ら=上川辺御座野地区で

下の人たちが集まってことし三月に誕生した組織。毎月第一土曜日に定例会を開くほか、同地区公民館の修理、子供会と合同のソフトボール大会、盆踊り、元日マラソンなどの計画を立てています。

この日の消防訓練は、男の人が働きに行っている間に火事があったは大変、と家庭の主婦を重点に行われたもので、消火せんの扱いが中心。婦人会御座野支部(藤

井美智枝支部長)の会員ら三十人が参加。第一分団一部の鈴木朝典副分団長ら六人の指導で、消火せんのふたの取り方、ホースのつなぎ方などを特訓、実際に放水して消火のコツを体得しました。

また「家庭用消火器の扱い方も教えて欲しい」という主婦の声にこたえ、秋の火災予防運動期間中には家庭用消火器を中心にした訓練も行う予定です。

川辺小で魚とり大会

川辺小のプールでこのほど、児童らの「魚とり大会」が行われました。プール開きを控えて、毎年この時期に行われている恒例行事。捕えた魚は、一人二匹ずつ家に持ち帰り、大切に育てています。

児童らが捕えたのは、昨年、西

柄井の山田隆之さん(四)から寄付されたコイ約三百匹。低・中・高学年に分かれ、三日間にわたって行われました。

ショートパンツや水着姿になった児童らは、水深五十センチほどに浅くしたプールに入り、タモや素手で魚とりに挑戦、なかには体長二十センチの「大物」を捕えた児童も。

西柄井Aが2連勝

子供会ソフトボール大会・中学生の部

二年連続優勝しました。

成績は次の通り。

川辺C③御座野
▽一、二回戦

下麻生A7―6下麻生B、西柄井A12―1中川辺D、下石神13―3上石神、御座野13―12西柄井C、中川辺C5―4上川辺中組、比久見上9―2西柄井B、福島・下飯田5―3比久見下、鹿塩13―6田中、中川辺A15―1下麻生A、中

川辺B7―6下石神、御座野9―6中川辺E
▽準々決勝
中川辺C13―8中川辺A、西柄井A8―7比久見上、福島・下飯田12―2中川辺B、御座野8―3鹿塩

▽準決勝

西柄井A10―0中川辺C、福島下飯田10―4御座野

▽決勝

西柄井A13―6福島・下飯田



2年連続優勝した西柄井Aチーム

ミニ・ニュース

二位以下は次の皆さん。(町内関係分II敬称略)

【男子】▽優良 鈴木勝重

(川辺小)加藤大志(上米田小)

【女子】▽優良 星野さゆり

(川辺小)長谷川直美(北小)

◇食品衛生優良施設 可茂食品衛生協会定期総会で、食品衛生優良施設として石神のドライ

ブ喫茶「むぎ」(小栗清子さん経営)が同協会会長表彰を受けました。

◇第1回庭球大会

6月10日に中部中

で。成績は次の通り。(敬称略)

【一般男子】①村瀬慎一・白

村茂②竹内康人・横田淨③辻武

史・小沢晟八

【同女子】①林美恵子・渡辺

千代子②平岩典子・村山由美③

水野伸子・遠藤恵美③羽賀八重

子・佐々木真理子

【中学生男子】①山田邦昭・

田口広志②松岡泰成・水野恵造

③堀江智則・井上正③井戸新吾

・奥村守

【同女子】①山口好江・中川

清美②大谷美智代・田原佳子③

加藤めぐみ・村山純子③佐藤明

美・木下宣子

◇家庭婦人バレーボール大会

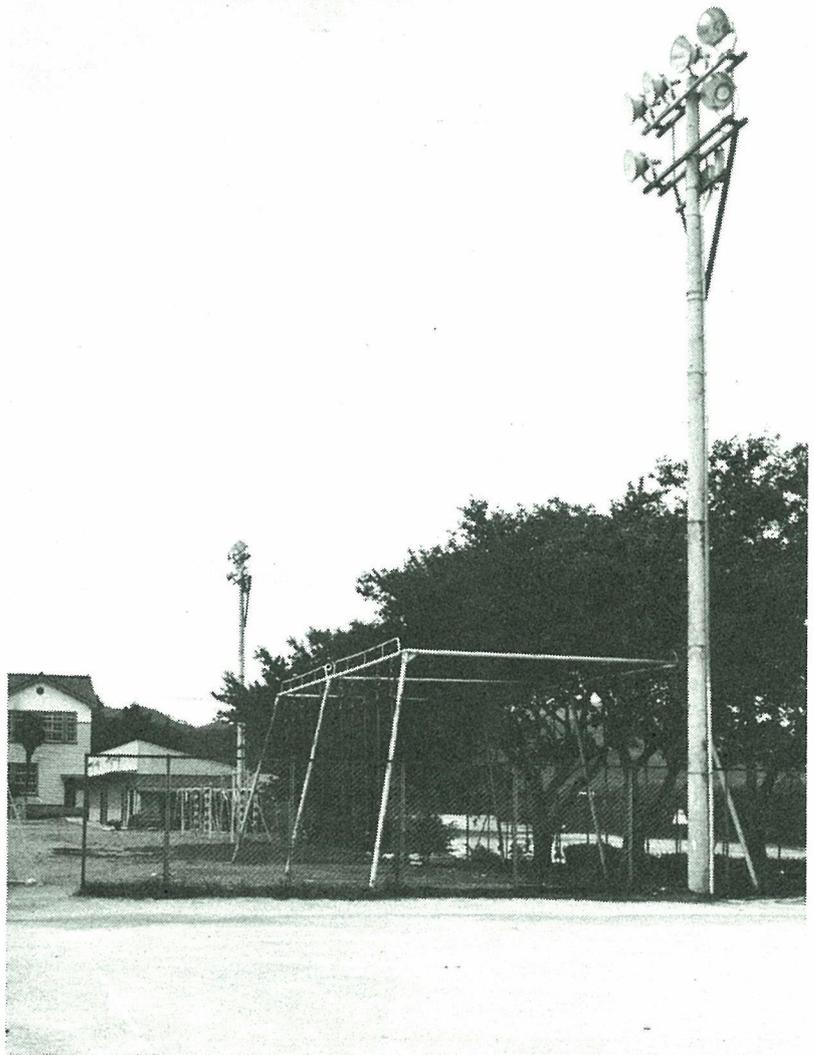
6月24日に中部中体育館で。

成績は次の通り。

①あじさい②比久見A③渡辺

チーム③比久見B

各区に無料開放される中部中のナイター施設。スポーツなどで楽しいひとときを



ナイター施設を無料開放

区単位で3か月間

町では本年度から、中部中のナイター施設を各区に開放することにし、このほど区別割り当て日を決めました。ナイター施設の開放は、区民が一緒になってスポーツなどを楽しみながら、親ほくを深めることが目的。使用料はいりません。

本年度は八月から十月までの三か月間。毎週土曜日の午後六時半から九時までです。十月十三日は町民運動会の準備があるため、残った十二日間を各区が順番で使うこととなります。詳しいことは、

各区の体育委員におたずねください。

使用割り当ては次の通り。

- ◇ 8月 ▼ 4日 下川辺 ▼ 11日
- ◇ 西柄井 ▼ 18日 中川辺 ▼ 25日
- ◇ 下吉田 ▼ 9月 ▼ 1日 中川辺
- 上 ▼ 8日 上川辺 ▼ 15日 下麻生
- ▼ 22日 鹿塩 ▼ 29日 福島 ◇ 10月
- ▼ 6日 石神 ▼ 20日 比久見 ▼ 27日 下飯田

健康のしおり

暑さに負けず

夏本番——いよいよ本格的な暑さがやってきました。暑くなると、胃液の分泌量や総酸度が低下したり、食物が胃から腸へ送られる通過時間が短縮されたりします。そのため胃の丈夫な人でも、タンパク質の消化力が落ち、消化時間が長引き、胃酸の持つ強い殺菌力も衰えてきます。

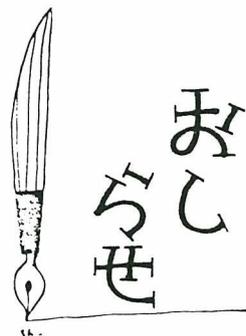
冷たい飲み物をたくさんとると、前に述べたような変化が起こります。夏は胃の調子が悪くなりがちです。暴飲暴食、特に暑いからといって、むやみやたらと冷たいものを飲まないようにしましょう。水は体にとって極めて重要な役割を持っています。汗となって失われた水分は補給しなければなりません。度を超すと夏バテの原因になります。昼間の農作業などで五割の汗をかいたとします。この場合、飲む水の量は七〇—八〇%に抑えるのが、最も理想的です。

水分のとりすぎに注意を

量の多いのが水です。成人男子では体重の六〇%、女子では五五%、赤ちゃんでは七〇%が水分です。生後三か月の赤ちゃんでは、体重一キについて毎日の水分必要量は、成人の二・五—三倍です。月齢、年齢が進むにつれ、この値は少なくなってきました。

赤ちゃんは体表面積が大きいので、発汗量も多くなります。ですから、赤ちゃんには水分の欠乏することのないように与えてください。熱が出たとき、下痢をしているときは、特に水分の補給に注意してください。さ湯か番茶が最もいいかと思えます。

子供の水分の補給は三度の食事とおやつで、スープかみそ汁三杯、牛乳二本、麦茶コップ二杯の水分が目安となります。しかし、スープ、みそ汁の塩分には十分注意し、中味を多くして与えて欲しいと思います。発育盛りの子供には何をやっていいかを考え、また成人病予防のためにも糖分の少ないものを与えましょう。



くらし

防災対策を

テレビ放送

中京テレビと東海テレビで、次の通り防災対策キャンペーンを放送します。

【中京テレビ】◇ご存じですか？—防災ミニ百科—(毎週木曜日・午前11時25分—30分)▽7月19日 覚えておきたい応急手当て—止血▽同26日 同—骨折—やけど【東海テレビ】◇そのときあなたは一くらしの中の防災—(毎週日曜日・午前8時25分—30分)▽7月22日 地震と避難—避難するときは▽同29日 同—情報とデマ

税

所得税一期分の納期は7月31日まで

7月は、所得税の予定納税第一期分を納める月です。税務署から第一期分の納税の通知を受けた方は、7月31日までに忘れずに納めてください。期限を過ぎると、延滞税など余分な税金を納めることになりす。

滞税など余分な税金を納めることになりす。

なお休業したり、災害などを受けたりして、ことしの税金が昨年より減る見込みの人は、予定納税の減額申請をすることができます。詳しいことは役場税務課におたずねください。

税金を納めるときは、あなたの預金口座から自動的に支払われる振替納税制度を利用されると便利です。新たに振替納税を利用しようとする方は、金融機関か税務署にお申し込みください。

相談

交通事故のことは

保険請求相談センターへ

社団法人日本損害保険協会・岐阜自動車保険請求相談センターでは、次の通り交通事故の相談を受けています。交通事故のことで困っている方は気軽にご相談ください。

◇相談場所 岐阜市金町八一—二〇、パレワシントンビル七階、岐阜調査事務所内社団法人日本損害保険協会・岐阜自動車保険請求相談センター—電0582(63)7001、0582(65)751

◇相談日時 ▽平日—午前9時半—午後4時半▽土曜日—午前9時半—正午

◇弁護士相談日 毎月第2、第4水曜日午後1時—4時 婦人相談所

家庭生活、男女問題、その他さまざまな問題で悩んでいる女性は、婦人相談所をおたずねください。あなたのよき相談相手となって、助言と関係機関への紹介をします。気軽にご利用を。

おめでた おくやみ

(五月中の届け出)

Table with columns for birth (出生) and death (死亡) records, listing names, addresses, and ages.

心配ごと相談

心配ごと相談を次の通り行います。悩みのある方は気軽にお出かけください。

◇日時 7月18日、8月1、15日・午前9時—12時

◇場所 役場会議室

詳しいことは役場住民課へ。

町史編さん室だより



—その45—

能古山入会論争考(13)
上川辺、鹿塩両村と、石神、中之番、栃井、下川辺四か村の

代表が、裁決を得るため江戸に向かったのは宝永五年(一七〇八)四月下旬、あるいは五月に入ってからであった。
江戸に出向した六か村の代表者は評定所に出頭し、三奉行立ち会いのもとに裁決状の交付を受けた。その全文は次のようである。
美濃国加茂郡上川辺村追訴 鹿塩村同郡石神村栃井村下川辺村中之番村山論之事
上川辺村百姓訴候者内山境峰を限り四ヶ村不入由申之 四ヶ村百姓答候者論所惣名能古山と称之不殘入会候旨申之 為検使町野惣右衛門手代酒巻磯右衛門前嶋小左衛門手代太田唯右衛門差遣内山境令評議候処 上川辺村之者新規二傍示引之誤候旨口上書差出候 貞享三年上川辺村之差出帳ニ納古山四至傍示載之六ヶ村入会山と記候 同五年六ヶ村より地頭江出候証文 絵図と村差出帳引合令点検処 名所致符合是又六ヶ村入会と書記候 条 四ヶ村申所理運ニ候惣山不殘入会ニ相定 有来外新開新林不可致之山手米如前々一村切ニ可収納之 且又上川辺村地内之溜井用水に引候ニ付溜井敷代石神村より出来候上者 右堀筋上川辺村之者不可妨之 石神村林際之大道林ニ附候分其石神村ニ而可支配之 為

衣類は表示を確かめて

くらしの豆知識

衣類の素材は、用途によっても違ってきます。買うときは繊維の特徴をよく知り、家庭用品品質表示法による表示を確かめましょう。
特別なものの以外は、なるべく自分で手入れができるものを選ぶようにすると、管理が手軽で経済的です。例えば子供のセーターなどは、汚れ方がひどく、たびたび洗たくしなければならぬので、毛一〇〇%のものよりも混紡の方が扱いやすく丈夫です。

わたしたちの作品

山の吐く息の如くに深緑を
なでつつ霧は空に消え行く
牧田たまゑ
山峡の草に埋もる石仏の
面輪愛しも天明とあり
肥田 千里
天平のお顔をみする菩薩さま
すがりてみたまきまろやかな胸
横山 寿子
土地の人なんじやもんじやの花と言ふ
ヒトツバタゴの雪覆ふ如
若井 国光
初孫の寝つけば部屋は静もりて
母となりたる吾娘も寝ねおり
肥田 節子
田植ええ終えくつろぎ居れば玉のれん
すれ合う音は夏の風なり
松岡 久美
離れ住む息の声遠く受話器の中に
家を思ひて田植え問いくる
岩井三千代
磨かれし格子戸の街高山に
人力の客悠然と過ぐ
赤坂富美子
過ぎし旅妻の語るはアカシヤと
ガイドの追い分北国の唄
紅谷 茂
夫と来し信濃善光寺の春の道
踏みたる石をバッグにおさむ
中嶋富士子
辛夷花咲かぬ今年の異状さは
早や空梅に不安感じぬ
井戸 正二
実習と言ひ田植をせがむ孫達と
田面に立てば我が幸あふる
渡辺 節夫
ゆとりなき生活に追われ隣人への
ときの挨拶も折々になりぬ
村瀬 雅一
紫蘇の色青き梅漬けにひろごれば
仕事しおえし安らぎおぼゆ
前島 一代
ブランコの揺れを残して長き日の
赤き太陽今沈みゆく
井戸 孝子
電話にて俵せ告げくる娘の声の
妻なる落着き持ちて響きぬ
小島みき子
夕ぎりてなおも大物の伝えくる
花卉を閉じたる真白き牡丹
垣下 博子

広報雑記

県広報協会主催の五十三年度広報コンクールで「広報かわべ」が特選になりました。四十九年度に次いで二度目。この表彰機会に、行政広報の重要性をさらに認識して編集に当たり、皆さんに一層愛され親しまれる広報紙づくりに努力していきます。ご協力をよろしくお願いいたします。



広報コンクール特選の賞状と盾

人口の動き

Table with population statistics: Total population 10,489 (+2), Male 5,187 (±0), Female 5,302 (+2), Households 2,549 (-2), In-migration 16 (-19), Out-migration 15 (-16). Note: =6月末住民登録人口より=